

ブラジルの預金準備率について

大和証券投資信託委託株式会社

2月24日、ブラジル中央銀行は預金準備率の引き上げを発表しました。

中央銀行のプレスリリースによれば、主な要点は以下の2点です。

- (1) 定期性預金に対する準備率を4月9日より15%に引き上げ(従来は13.5%)
- (2) 定期性預金および要求性払預金に対する追加準備率を3月22日より8%に引き上げ(従来は5%ないし4%)

(準備預金は、準備率と追加準備率等から算出されることとなります。)

ブラジル中央銀行は、今回の預金準備率引き上げによる流動性吸収額を(1)による準備預金の増加を340億リアル、(2)による準備預金の増加を370億リアルと見込んでおり、合わせて710億リアルの流動性を吸収するとみられます。

金融危機が始まる前の準備預金額は2,570億リアルでしたが、金融危機に対する緩和措置として998億リアルの準備預金額の軽減を行ってきました。したがって、今回、金融危機に対する措置として供給してきた流動性の約70%を吸収すると見込まれます。

発表後の記者会見でメイレス ブラジル中銀総裁は「銀行間市場での流動性は潤沢であり、これ以上緩和策を続ける必要は無い」と説明しています。

ブラジルでは、力強い内需の回復を中心にリーマンショック後の景気後退を克服しており、2010年には5.8%(ブラジル中銀インフレレポート)の実質経済成長が予想されています。一方で、2010年1月のインフレ率が4.59%(前年比)となるなど、一部でインフレに対する警戒感も台頭していました。今回の措置により市場は一時的に反応する可能性もありますが、流動性を吸収することで景気とインフレの過度な加速を抑え、持続的な成長が期待できる環境が維持され则认为られます。

以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会